



Recycling Meets Design™ Project

#02 INVITATION

Recycling Meets Design™ Project は、
デザインの力で環境問題に向き合い課題解決を目指す、
DNPとデザイナーと専門家による共創プロジェクトです。





プロジェクトへの思い

『デザインの力』で、再生材を活かしたい。

こんにちは

今日まで私たちは、プラスチックという素材を用いて、さまざまな利便性や経済効率を前提とした製品をデザインし世に送り出してきました。しかし多くの恩恵を受ける一方で、使い終わり、回収された再生プラスチックの量に見合った活かし方が見出されず、とどまっています。

いま、あらゆる変化の中起きている課題は何か？

再生プラスチックをどのように活かすことができるのか？

求められるのはどんな場面か？そしてそこで何を変えていきたいか？

この共創PJでは、回収によってリサイクルされた容器包装プラスチック＝「再生プラスチック」を題材として、再び社会に役立て循環させるためのアイデアを多くの知恵を結集し、生み出したいと考えています。2020年7月、第一期として多くのメンバーと活動をスタートさせ、12月のプレゼンテーションによる反響を受けました。そして今年も、第二期に向けての準備を進めており、ぜひ共感いただける皆さまと、課題解決につながる可能性を模索・提案していきたいと思っています。

プロジェクトメンバー一同



求める参加者

環境問題に関心がありさまざまな課題解決を目指したいデザイナー、クリエイターの方
幅広い領域、視点の異なるデザイナー

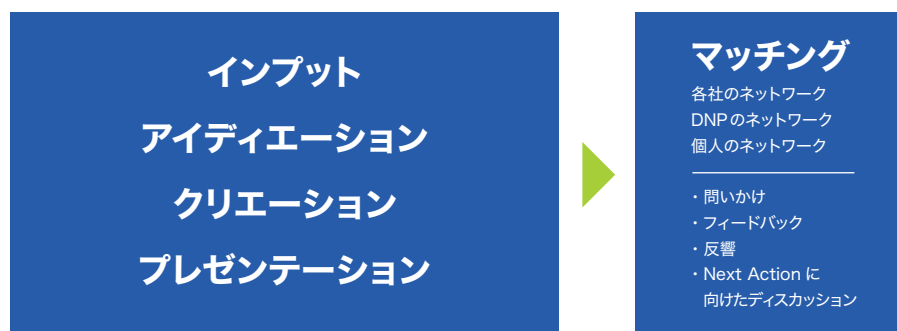
- ・ パッケージ、グラフィック、建築、ファッション、プロダクトデザイナーなど、プランナー、コピーライター等

参加へのメリット

個々人では、アプローチが難しい環境問題に対して共に模索でき、具体的な行動につながるすることができます。

- ・ 環境課題、リサイクルへの正しい知識を得ることができます
- ・ 共創を通じて、さまざまな専門家、技術者、クリエイターとの情報共有、ネットワーキングができます
- ・ DNPの共創施設が利用できます
- ・ プレゼンテーションや成果の発表など、環境課題へのアプローチを発信することでご自身の考えや創造性を社会に提言することができます

プロジェクトの 位置づけ・実施概要



本プロジェクトは、プレゼンテーションおよびその反響、実現に向けた協業先のマッチング等具現化の可能性検討までを担います。

ビジネス検討に向けたネクストステップは、個別テーマとして独立した取り組みと捉えています。なお参加者が独自にビジネス化検討を行う際には、本プロジェクト運営事務局、参加者と協議を行い権利等に関して、適切な対応・判断を検討するものとしします。



参加費・参加条件

参加費用：無料

※最終プレゼンに至るまでのプロセスにおいての制作はご自身にて負担いただきます。

ただし、プロトタイプ作成等において参加者と運営事務局で検討の上、一部制作支援を行います

全日程参加可能であること

※所属会社等の許可等の確認は各自にてお願いします。

共創プロセスによる対話や議論に前向きに取り組んでいただける方

定員数：議論を深めるため、20名程度を予定しています。

※定員を超えた場合お断りすることがあります。ご了承ください。

※参加者の個人情報について：本プロジェクト以外の目的での利用または第三者への提供はいたしません。

※免責：本プロジェクトに参加中の事故により参加者が身体および財産上の被害を被った場合、その損害は参加者自身が負担し、運営事務局に何ら請求はできません。参加者は運営事務局およびすべての参加者・関係者に対し損害を与えた場合は、自らの責任によりこれを解決し、責任・負担などの請求はできません。

本プロジェクトの参加者は、これらの参加要件をすべて読み、申し込みをした時点ですべての内容に同意したものとします。

申込方法

申込書をメールに添付し、以下の事務局アドレスまで送付ください。

氏名、所属先(会社名)、連絡先(メールアドレス・電話番号)

参加希望理由／プロフィール(簡単な自己紹介・実績等)

申し込み期限

6月30日(水)

送付先・問い合わせ先

Mail : RMD_dnp@team.dnp.co.jp

企画・運営

- ・ TOPAWARDS ASIA : Henry Ho、矢野 沙莉奈
- ・ 株式会社GKグラフィックス : 木村雅彦
- ・ 大日本印刷株式会社 : 包装事業部 イノベーターパッケージングセンター
(企画本部) 福岡直子、川上 愛、綱島成美、松村 隼、青木拓海
(マーケティング戦略本部 環境ビジネス推進グループ)
茂木 沙緒梨、尾見敦子

recycling
meets
design

実施期間

2021年7月～2022年2月（全8回）

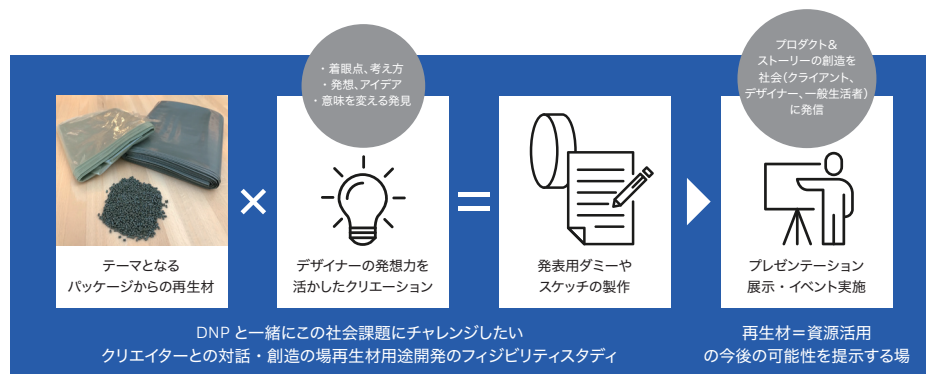
第1回	INPUT	7月29日(木) 13:00～16:00
第2回	INPUT	8月27日(金) 13:00～16:00
第3回	IDEATION	9月30日(木) 13:00～16:00
第4回	IDEATION	10月28日(木) 13:00～16:00
第5回	CREATION	11月26日(金) 13:00～16:00
第6回	CREATION	12月23日(木) 13:00～16:00
第7回	リハーサル	1月27日(木) 13:00～16:00
第8回	プレゼンテーションイベント	2月25日(金) 13:00～18:00

実施形式：集合または Teams によるオンライン形式

実施会場：大日本印刷会議室（市ヶ谷）

※集合形式を基本としますが、社会状況により変更の可能性があります

実施概要



実施内容



成果物

参加者が制作した成果物（プレゼン用スケッチ、画像、音声、動画、その他）に関する知的財産権・その他一切の権利は、作成した参加者自身に帰属します。複数で制作した場合や、技術者の協力によって具現化した場合はその関係者にて共有することとします。

ただし、運営事務局は、成果物を

- ① その発表のために必要な利用（複製、上映など）をすること、
 - ② 本プロジェクトを広報するための印刷物やホームページに利用すること、および
 - ③ 本プロジェクトの記録として保存するために複製することについて、
- 参加者には了承していただきます。

※成果物に関わる知的財産権・その他一切の権利は、第三者に侵害されても運営事務局に請求できません。

自らが独自に創出・考案したアイデアを対象とし、以下に該当しないよう留意ください。

プレゼン直前等に発覚した際には、運営事務局が、参加者の承諾を得ることなく、当該アイデアの除外をいたします。

- ① 第三者のノウハウ、肖像権、パブリシティ権、著作権、商標権、特許権等の知的財産権その他の権利（総称して、以下「本知的財産権」といいます）を侵害する又はそのおそれのあるもの
- ② 所属企業等が保有する本知的財産権を侵害する又はそのおそれのあるもの
◎ただし参加者が提供を希望する場合には事前に運営事務局に通知し、その対応を協議するものとします。
- ③ わいせつな表現・内容を含むもの
- ④ 法令に違反する又はそのおそれのあるもの
- ⑤ 公序良俗に反する表現・内容を含むもの又はそのおそれのあるもの
- ⑥ その他運営事務局が不適当と判断するもの

※参加者が発案したアイデアに関して第三者（原作者、著作者、所属企業等を含み、これらに限定されません）からの権利の主張、異議、苦情、損害賠償請求等の紛争が生じた場合には、応募者の責任と費用負担（弁護士費用等を含む）においてこれを処理し、運営事務局に損害を与えないものとします。

公開

運営事務局は、本プロジェクトに関する写真、動画等のプロセス記録を行います。それらについて、広く社会に認知を求めるため、参加者の確認・同意後、Web サイト、SNS 等にて公開することがあります。（なお、ホームページに掲載する場合にはその期間を限定します。また、広報の際にアイデア・作品を要約したり翻訳したりする場合がありますが、その際には作成者の確認をとることとします）。参加者は、運営事務局およびプロジェクト関係者から了解があった時点から、Web サイト、SNS 等にて公開することができます。（各会社の広報的規程等を相互に確認の上、判断すること）